

2018年 年頭挨拶



理事長 長濱 正弘

明けましておめでとうございます。
皆様方には希望に満ちた2018年(戊戌)の新春をお迎えのことと、心よりお慶び

申し上げます。 べき節目を迎えることになりました。昨年4月より60周年記念事業をスタートさせ、①学生食堂の設置、②アネックス共創館及び隣接グラウンドの整備、③歴史資料コーナー設置の3

申し上げます。 昨年中は引き続き沖縄大学に對しまして御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。 さて沖縄大学は本年6月10日に創立60周年の記念す

事業を推進しております。 学生食堂は運営事業者の選定を終え、施設の設計段階に入り、いよいよ2月には着工し、6月にオープンを予定しております。 アネックス共創館は、4階のうち1、2階及びグラウンドの整備を完了し、次年度に3、4階の整備を行う予定で準備を進めております。

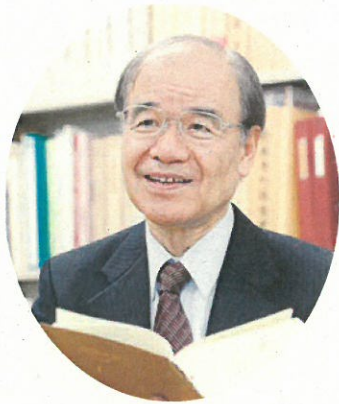
歴史資料コーナーは展示内容を検討中で、創立記念日までには完了してお披露目できるよう進めてまいります。 この記念事業に取り組むに当たり、ご寄附の募集も推進してまいりました。この間、多くの

方々の御協力により目標50百万円の約26.1%のご寄附を賜りました。引き続き目標に向け活動してまいりますので皆様方の御協力よろしくお願ひ申し上げます。

60周年の還暦を契機として、沖縄大学創立者・嘉数昇先生の思い「教育の機会均等」、「地域社会の発展向上に貢献できる人材育成」、更に50周年に制定された新たな理念「地域共創・未来共創の大学へ」の原点に立ち戻り役員一丸となって行動してまいります。 来年2019年4月には、県内では以前から切望されておりました管理栄養士を養成する

新たな学部「健康栄養学部(仮称)」の設置を構想中で、所轄官庁であります文部科学省及び厚生労働省に對し近日中に設置申請を行う運びになっております。

新学部の設置を沖縄大学の更なる発展の契機ととらえ、教育・研究の向上により尽力し、地域社会の要請する人材の輩出により沖縄の自立的発展に貢献してまいります。併せて卒業生が誇れる母校づくりに邁進していく所存でございます。 本年が学生はじめ関係者の皆様にとりまして、実りある年になりますよう心から祈念申し上げます。 年頭の挨拶といたします。



学 長 仲地 博

新年おめでとうございます。 希望に満ちた新年を迎えることができたことを、皆さまとともに慶びたいと思いま

ました。地域共創の拠点です。その後背地には小さいながら、人工芝を張った機能的なグラウンドを整備しました。部活や体育の授業、かけっこ教室など地域

沖縄大学は順調に発展の道を歩んでいます。 2017年(昨年)、大学から徒歩7分程度のところに、沖縄大学アネックス共創館をオープンし

の子どもたちにも活用されています。 教員採用試験は、現役で初の二けた合格(14名)を達成し、過卒生を含めると40名近い合格者です。入学した後、学生の力を伸ばす大学として高校での評価も日々高まっています。 2018年(今年)6月には、創立60周年を祝います。県内では、二番目に古い歴史を刻んだ老舗の大学となりました。60周年を記念した事業は、学生の修学環境の整備を第一とし、待望の学食を設置します。必要な資金は、後援会、同窓会、企業や沖縄大学を応援して下さいる方た

ちから多大なご芳志が寄せられています。 2019年(来年)4月には、新しい学部「健康栄養学部(仮称)」開設を計画しています。管理栄養士(受験資格)と栄養教諭の資格が取れる県内唯一の学部です。これにより沖縄大学は、理系を備えた文理総合大学として新しいステージに立ちます。

学生も元気で、空手道部、硬式野球部、サッカー部、男子バスケット部の活躍、沖大祭・オープンキャンパス等での学生の活躍にも目覚ましいものがありました。沖縄大学は、教育でも地域貢献でも研究でも、

小さくともキラリと光る大学であると自負しております。 18歳人口の減少、青年の大都市の志向など地方の小規模私立大学を取り巻く状況は極めて厳しいものがあります。その中で、新年は創立60周年という節目の年であり、さらに100周年に向けて着実な一歩となる年となるよう全力を尽くします。

学生、教職員、同窓会、後援会(ご父母)そして沖縄大学が立地する那覇市並びに沖縄県などすべての関係者のご支援とご参加をお願いいたします。年頭のご挨拶といたします。